

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

No.2

2017/08/31

りそなホールディングス 市場企画部



## ○今月の相場見通し (サマリー)

※各マーケットコメントは8月31日 (木) 9:00現在

|      |           | 8月30日現在<br>(矢印は7月末比) | 今月の予想 (9月1日～9月30日)            |
|------|-----------|----------------------|-------------------------------|
| 為替相場 | ドル・円 (円)  | ⇒ <b>110.24</b>      | 上昇 ↗ <b>106.00 ~ 114.00</b>   |
|      | ユーロ・円 (円) | ↗ <b>131.01</b>      | 下落 ↘ <b>125.00 ~ 133.00</b>   |
| 株式相場 | 日経平均 (円)  | ⇒ <b>19,507</b>      | もみ合い ↕ <b>18,750 ~ 20,250</b> |
|      | NYダウ (ドル) | ⇒ <b>21,892</b>      | 下落 ↘ <b>20,000 ~ 22,500</b>   |
| 長期金利 | 日本 (%)    | ⇒ <b>0.00</b>        | 上昇 ↗ <b>-0.02 ~ 0.10</b>      |
|      | 米国 (%)    | ⇒ <b>2.13</b>        | 上昇 ↗ <b>1.90 ~ 2.40</b>       |

## ○今月の注目ポイント

| FOMCやECBの政策イベントで方向感が出やすい |     |                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ                      | 注目度 | 今月の注目ポイント                                                                                                                                                                                          |
| 景気動向                     | ○   | <p>【景気動向】米国経済は足許良好であるものの、今後はハリケーンの影響が焦点となる。月末にかけて発表される先行的な経済指標は弱めの数字となりやすい。マクロの改善についての強気な見方に変化が出てこよう。</p> <p>【物価動向】賃金やCPIの鈍化傾向が継続しているが、徐々に下げ止まりの兆しが見られており、物価に対する認識が変化すれば金融政策に影響。</p>               |
| 金融政策                     | ◎   | <p>【ECB】9/7 ECB定例理事会では直近のユーロ高や9月FOMCを見極める必要があることから量的緩和縮小についての具体的な議論を先送りする見込み。</p> <p>【FOMC】9/20FOMCではバランスシート縮小開始が公表される見通し。FRBの来年末までの利上げ見通しが4回に対し、マーケットは1回と乖離がある。FRBが利上げに慎重な見通しを示せばドル安、米金利低下要因。</p> |
| 政治                       | ○   | <p>【米国政治】9/5より米議会が再開されることで2018年度予算や債務上限問題がテーマとなりやすい。税制改正等の議論等、引き続き政治的な対立が意識される。一方、ハリケーンに伴う復興予算の手当を速やかに進める必要があることを勘案すると、政府機関閉鎖の可能性は後退。</p> <p>【欧州政治】独連邦議会選は保守系与党の勝利が見込まれ波乱はない見込み。</p>               |
| その他                      | ○   | <p>【テクニカル】季節性の観点から秋にかけてボラティリティが高まりやすい</p> <p>【地政学リスク】9/9に北朝鮮の建国記念日を控えており、神経質な展開</p>                                                                                                                |

| 今月の見通し |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 為替     | <p>【ドル円】 良好な米経済指標を背景に、バランスシート縮小が予想されるFOMCまではドルが買われやすい展開を想定。FOMC後、9月末にかけてはハリケーンの影響も米指標に出てくることから、ドル高が一服。円は徐々に買い戻されるであろう</p> <p>【ユーロ】 ECBはユーロ高への警戒やFOMCの動向を見極める必要から、量的緩和縮小の具体的な議論を見送り、ユーロ高に一服感が生じる。月末にかけては米景気への慎重な見方も浮上しやすく、ユーロは調整一服となり買戻されるであろう</p> |
| 株式     | <p>【日本株】 米国政治の混乱や北朝鮮の地政学リスクが警戒される中、米国株式や為替動向にらみで振られやすい展開は続く。一方で、良好な企業業績がサポートとなり下値も堅いであろう</p> <p>【米国株】 米国政治の混乱が継続する中、ドル高も重石となり、上値の重い展開が続く。月末にかけては、FRBによるバランスシート縮小開始やハリケーンによる景気の下振れも意識され、下値を切り下げる展開を見込む</p>                                         |
| 長期金利   | <p>【円金利】 良好な需給環境の下で金利は低下基調にあるが、節目の10年0.0%近辺では、オペ減額への警戒や入札への警戒が高まりやすい。円金利は引き続き0.00-0.08%を中心としたレンジ内での動きが見込まれる</p> <p>【米金利】 米国政治に不透明感はあるものの、FOMCにかけてはFRBによるバランスシート縮小も意識され、金利は下げ止まりから上昇に転じる。FOMC後はハリケーンによる景気の下振れも意識され、金利上昇も一服となる</p>                  |

## ○今月の重要日程

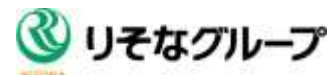
|                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 1日 (金) 米 8月ISM製造業景況感指数 | 19日 (火) 米 FOMC(19-20日)     |
| 1日 (金) 米 8月雇用統計        | 20日 (水) 日 金融政策決定会合(20-21日) |
| 5日 (火) 米 議会審議再開        | 24日 (日) 独 連邦議会選挙           |
| 7日 (木) 欧 ECB定例理事会      | 24日 (日) 仏 上院議会選挙           |
| 9日 (土) 朝 北朝鮮建国記念日      | 26日 (火) 米 イエレンFRB議長講演      |
| 13日 (水) 米 消費者物価指数      | 29日 (火) 日 8月鉱工業生産 (速報)     |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュ マンスリー (2017年9月号)

2017/08/31

## ○今月の相場見通し① 為替

### ドル 円



米ドル・円



ドル・円は上昇

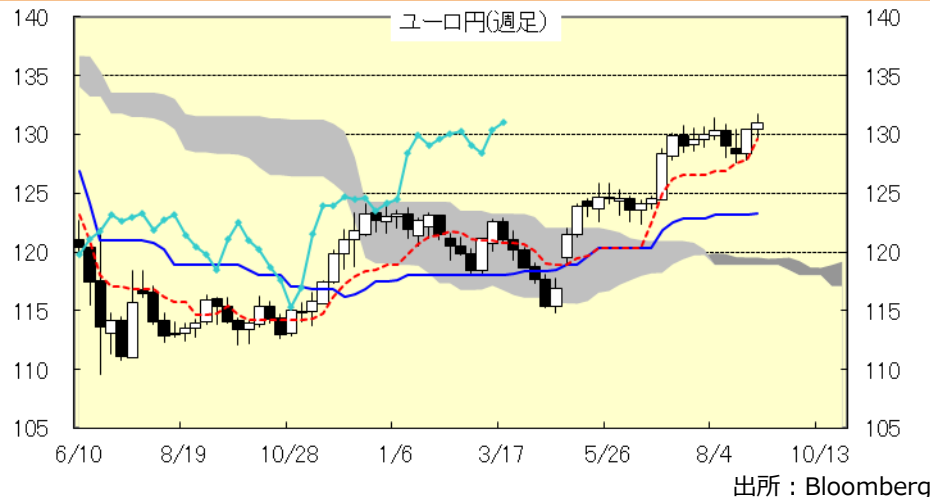
**106.00 - 114.00円**

**FOMCまではドルが買われやすいものの、月末にかけてはドル高一服を想定**

9/5より米国の議会が再開される。2018年度予算や債務上限等の議論が錯綜し、振らされる場面も想定されるが、マクロ環境は良好であり、ドルは下支えされよう。7日のECB理事会ではユーロ高警戒から量的緩和縮小の具体的な議論は見送られ、**FOMCまで、ドルが買われやすい展開を想定。**

FOMCではバランスシートの縮小が決定される見込み。またFRBによる長期的な金融政策見通しが緩和される可能性がある。FRBの年末までの利上げ見通しが4回に対し、マーケットは1回と乖離がある。ハリケーンの影響を見極める必要からFRBの見通しは慎重となりやすく、**ドル高も一服となろう。月末にかけては、米経済指標の下振れも想定され、円は徐々に買い戻されるであろう。**

### ユーロ



ユーロドル



ユーロドルは下落

**1.16 - 1.22ドル**

ユーロ円



ユーロ円は下落

**125.00 - 133.00円**

**ECBの警戒からユーロ高一服も、FOMC後は買戻しを想定**

ECBは7月の定例理事会で量的緩和変更等の議論のタイミングを秋とした。足許ユーロ高が進行していることやFOMCの動向を見極める必要があることから、9月の定例理事会では量的緩和縮小の具体的な議論を見送ることを見込む。**ユーロ高に一服感が生じ、FOMCまではユーロは対ドルで調整しやすい地合いであろう。**

ただFOMCではハリケーンの影響もあり、FRBの見通しは慎重となりやすい。FOMC後は月末にかけて米景気への慎重な見方も浮上しやすい。**ユーロは調整一服となり、対ドルで買い戻されるであろう。**

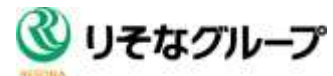
政治面では24日にドイツの連邦議会選挙が開催されるが、保守系与党の勝利が優勢となっており、為替市場への影響は限定的であろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



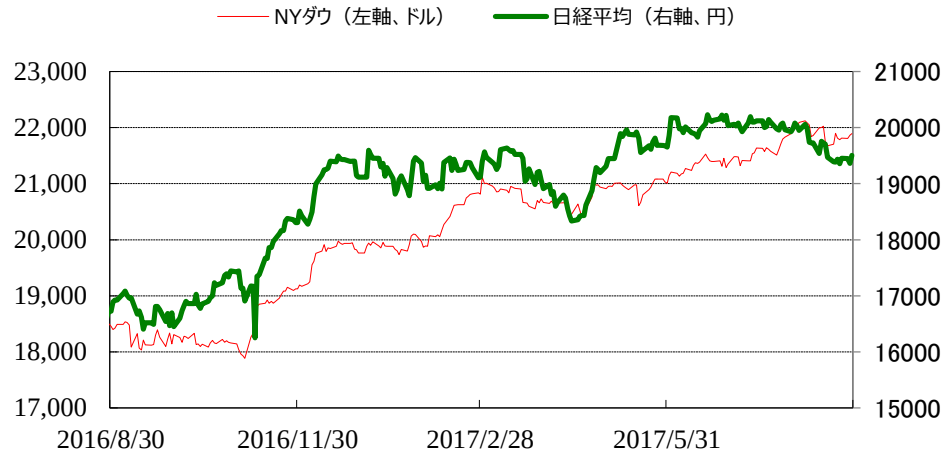
# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

## (2017年9月号)

2017/08/31

### ○今月の相場見通し② 株式、長期金利

#### 株 式 見 通 し



出所：Bloomberg

日経平均

➡ 日経平均はもみ合い

**18,750 – 20,250円**

米国政治の混乱や北朝鮮の地政学リスクが警戒される中、米国株式や為替動向にらみで振られやすい展開は続く。一方で、良好な企業業績がサポートとなり下値も堅いであろう。

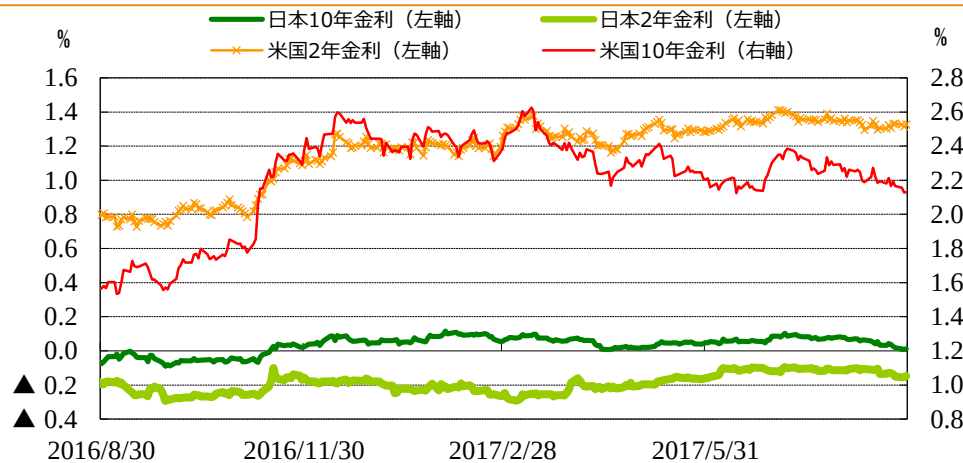
NYダウ

➡ ダウは下落

**20,000 – 22,500ドル**

米国政治の混乱が継続する中、ドル高も重石となり、上値の重い展開が続く。月末にかけては、FRBによるバランスシート縮小開始やハリケーンによる景気の下振れも意識され、下値を切り下げる展開を見込む。

#### 長 期 金 利 見 通 し



出所：Bloomberg

日本国債10年

➡ 金利は上昇

**-0.02 – 0.010%**

良好な需給環境の下で金利は低下基調にあるが、節目の10年0.0%近辺では、オペ減額への警戒や入札への警戒が高まりやすい。円金利は引き続き0.00-0.08%を中心としたレンジ内での動きが見込まれる。

米国債10年

➡ 金利は上昇

**1.90 – 2.40%**

米国政治に不透明感はあるものの、FOMCにかけてはFRBによるバランスシート縮小も意識され、金利は下げ止まりから上昇に転じる。FOMC後はハリケーンによる景気の下振れも意識され、金利上昇も一服となろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

## (2017年9月号)

2017/08/31

### ○マーケットカレンダー

【前半】

|         | 日本                                                   | 米国                                             | その他                                                                                                       |
|---------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9/1(金)  | 8月消費動向調査<br>法人企業統計                                   | 8月雇用統計<br>7月建設支出<br>8月ISM製造業景況感指数              |                                                                                                           |
| 9/4(月)  | 8月マネタリーベース                                           | <労働感謝の日>                                       |                                                                                                           |
| 9/5(火)  | 10年債入札                                               | 7月製造業受注                                        | (EU) 7月小売売上高<br>(豪) 準備銀行理事会                                                                               |
| 9/6(水)  | 7月毎月勤労統計<br>国庫短期証券(6ヶ月)                              | 7月貿易収支<br>8月ISM非製造業景況感指数                       | (独) 7月製造業受注                                                                                               |
| 9/7(木)  | 30年債入札<br>7月景気動向指数<br>国庫短期証券(3ヶ月)                    |                                                | (EU) ECB定例理事会<br>(中) 8月貿易統計<br>(独) 7月鉱工業生産<br>(英) BOE金融政策委員会<br>(豪) 7月小売売上高<br>(豪) 7月貿易収支<br><ブラジル 独立記念日> |
| 9/8(金)  | 8月景気ウォッチャー調査<br>4-6月期GDP2次速報値<br>7月国際収支<br>8月貸出・預金動向 | 7月消費者信用残高                                      | (独) 7月貿易収支<br>(英) 7月鉱工業生産・製造業生産                                                                           |
| 9/9(土)  |                                                      |                                                | (中) 8月CPI                                                                                                 |
| 9/11(月) | 7月機械受注<br>7月第3次産業活動指数<br>8月マネーストック                   |                                                |                                                                                                           |
| 9/12(火) | 5年債入札                                                |                                                | (英) 8月CPI                                                                                                 |
| 9/13(水) |                                                      | 8月財政収支                                         | (EU) 7月鉱工業生産<br>(英) 8月失業率                                                                                 |
| 9/14(木) | 20年債入札<br>7月稼働率<br>国庫短期証券(3ヶ月)                       | 8月CPI                                          | (中) 8月鉱工業生産<br>(中) 8月小売売上高<br>(豪) 8月失業率<br>(中) 8月固定資産投資                                                   |
| 9/15(金) | 国庫短期証券(1年)                                           | 8月鉱工業生産<br>8月小売売上高<br>7月企業在庫<br>9月NY連銀製造業景況感指数 |                                                                                                           |

【後半】

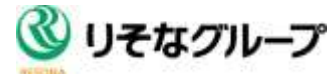
|         | 日本                                                             | 米国                                                      | その他                       |
|---------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------|
| 9/18(月) | <敬老の日>                                                         | 7月対米証券投資                                                | (EU) 8月CPI                |
| 9/19(火) |                                                                | 8月住宅着工<br>FOMC(-20日)<br>8月輸入物価指数                        | (独) 9月ZEW景気期待指数           |
| 9/20(水) | 8月貿易統計<br>日銀金融政策決定会合(-21日)<br>国庫短期証券(3ヶ月)<br>資金循環統計<br>流動性供給入札 | 8月中古住宅販売件数                                              | (独) 8月PPI                 |
| 9/21(木) | 7月全産業活動指数<br>黒田日銀総裁定例会見                                        | 8月景気先行指数<br>9月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数                        | (EU) 9月消費者信頼感指数           |
| 9/22(金) | 流動性供給入札                                                        |                                                         |                           |
| 9/23(土) | <秋分の日>                                                         |                                                         |                           |
| 9/25(月) |                                                                | 8月シカゴ連銀全米活動指数                                           | (独) 9月IFO景況指数             |
| 9/26(火) | 40年債入札<br>日銀金融政策決定会合議事要旨                                       | 7月S&Pコア・ブティックCS住宅価格指数<br>8月新築住宅販売<br>9月リッチモンド連銀製造業景況感指数 | (独) 8月小売売上高               |
| 9/27(水) | 日銀金融経済月報                                                       | 8月中古住宅販売成約指数                                            | (EU) 8月マネーサプライ            |
| 9/28(木) | 2年債入札<br>国庫短期証券(3ヶ月)                                           | 4-6月期GDP確報値                                             | (独) 9月CPI<br>(NZ) 準備銀行理事会 |
| 9/29(金) | 8月CPI<br>8月鉱工業生産<br>8月家計調査<br>8月雇用統計<br>8月住宅着工件数<br>8月商業販売統計   | 8月個人所得・消費支出<br>9月シカゴ地区製造業PMI                            | (EU) 9月HICP               |
| 9/30(土) |                                                                |                                                         | (中) 9月PMI製造業              |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

## (2017年9月号)

2017/08/31

### ○市場動向

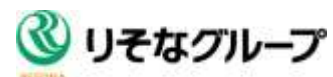
|      |                  |                        | 16年12月末   | 17年3月末    | 17年6月末    | 17年7月末    | 8/30(水)   |
|------|------------------|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 外国為替 | 東京               | ドル・円(仲値)               | 116.55    | 112.81    | 112.00    | 110.35    | 109.89    |
|      |                  | ユーロ・円(仲値)              | 122.79    | 119.81    | 128.02    | 129.61    | 131.65    |
|      |                  | 豪ドル・円(仲値)              | 84.38     | 85.82     | 86.24     | 87.95     | 87.53     |
|      |                  | NZドル・円(仲値)             | 81.24     | 78.47     | 82.04     | 82.98     | 79.78     |
|      |                  | ドル・円(15:30時点)          | 116.61    | 111.79    | 112.06    | 110.61    | 110.03    |
|      |                  | ユーロ・円(15:30時点)         | 122.90    | 119.43    | 128.11    | 129.73    | 131.49    |
|      |                  | ユーロ・ドル(15:30時点)        | 1.0538    | 1.0684    | 1.1433    | 1.1729    | 1.1951    |
|      |                  | ドル円直先スワップレイト(3ヵ月、銭/ドル) | d 55.0    | d 41.3    | d 45.6    | d 47.5    | d 47.1    |
|      | N Y              | ドル・円                   | 116.96    | 111.39    | 112.39    | 110.26    | 110.24    |
|      |                  | ユーロ・ドル                 | 1.0517    | 1.0652    | 1.1426    | 1.1842    | 1.1884    |
|      |                  | 英ポンド・ドル                | 1.2340    | 1.2550    | 1.3025    | 1.3215    | 1.2925    |
|      |                  | スイスフラン・ドル              | 1.0190    | 1.0026    | 0.9579    | 0.9669    | 0.9636    |
| 株式   | 東京               | 日経平均(225種/円)           | 19,114.37 | 18,909.26 | 20,033.43 | 19,925.18 | 19,506.54 |
|      |                  | 東証株価指数(TOPIX)          | 1,518.61  | 1,512.60  | 1,611.90  | 1,618.61  | 1,607.65  |
|      |                  | 日経ジャスダック指数             | 2,739.25  | 3,045.84  | 3,251.67  | 3,340.12  | 3,413.71  |
|      |                  | 東証マザーズ指数               | 942.68    | 1,070.89  | 1,181.74  | 1,154.52  | 1,096.07  |
|      |                  | 東証1部出来高(百万株)           | 1,667.86  | 2,222.23  | 1,968.97  | 2,334.55  | 1,705.30  |
|      | 海外               | NYダウ(ドル)               | 19,762.60 | 20,663.22 | 21,349.63 | 21,891.12 | 21,892.43 |
|      |                  | ナスダック総合指数              | 5,383.12  | 5,911.74  | 6,140.42  | 6,348.12  | 6,368.31  |
|      |                  | 中国上海総合指数               | 3,103.64  | 3,222.51  | 3,192.43  | 3,273.03  | 3,363.63  |
|      |                  | SENSEX(インド)            | 26,626.46 | 29,620.50 | 30,921.61 | 32,514.94 | 31,646.46 |
|      |                  | ブラジルボエスパ指数             | 60,227.29 | 64,984.07 | 62,899.97 | 65,920.36 | 70,886.26 |
|      |                  | MICEX指数(ロシア/ドル建)       | 2,232.72  | 1,995.90  | 1,879.50  | 1,919.53  | 2,008.88  |
| 商品   | 金(NY先物、期近)(ドル)   |                        | 1,151.70  | 1,247.30  | 1,242.30  | 1,266.60  | 1,310.40  |
|      | 原油(WTI先物、期近)(ドル) |                        | 53.72     | 50.60     | 46.04     | 50.17     | 45.96     |
|      | CRB先物指数          |                        | 192.51    | 185.88    | 174.78    | 182.64    | 176.87    |

|      |          |              | 16年12月末  | 17年3月末   | 17年6月末   | 17年7月末   | 8/30(水)  |
|------|----------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 国内金利 | 無担保コール   | オーバーナイト物     | -0.058   | -0.060   | -0.069   | -0.064   | -0.059   |
|      |          | 3ヵ月          | 0.05727  | 0.05727  | 0.05727  | 0.05727  | 0.05727  |
|      |          | 6ヵ月          | 0.10636  | 0.10636  | 0.10636  | 0.10636  | 0.10636  |
|      | 日本円TIBOR | 新発債          | -0.195   | -0.224   | -0.119   | -0.120   | -0.155   |
|      |          | 新発債          | -0.114   | -0.125   | -0.070   | -0.065   | -0.148   |
|      |          | 新発債          | 0.041    | 0.065    | 0.084    | 0.073    | -0.009   |
|      |          | 新発債          | 0.570    | 0.630    | 0.590    | 0.585    | 0.525    |
|      | 円/円スワップ  | 2年           | 0.02456  | 0.05065  | 0.04250  | 0.03877  | 0.01500  |
|      |          | 5年           | 0.07509  | 0.10307  | 0.09877  | 0.10501  | 0.06803  |
|      |          | 10年          | 0.22922  | 0.26436  | 0.25208  | 0.25378  | 0.21132  |
|      |          | 20年          | 0.65604  | 0.67917  | 0.63193  | 0.64957  | 0.62750  |
| 海外金利 | 米金利      | FFレート        | 0.50     | 0.81     | 1.05     | 1.06     | 1.16     |
|      |          | TB(3ヵ月)      | 0.497    | 0.752    | 1.011    | 1.072    | 1.010    |
|      |          | T-NOTE(10年債) | 2.444    | 2.387    | 2.304    | 2.294    | 2.131    |
|      | LIBOR    | 日本円(3ヵ月)     | -0.04657 | 0.02593  | -0.00014 | -0.01579 | -0.02800 |
|      |          | 米ドル(3ヵ月)     | 0.99789  | 1.14956  | 1.29917  | 1.31056  | 1.31611  |
|      |          | ユーロ(3ヵ月)     | -0.33643 | -0.35786 | -0.37200 | -0.37729 | -0.37257 |
|      |          | 英ポンド(3ヵ月)    | 0.36663  | 0.33744  | 0.30669  | 0.28613  | 0.27744  |
|      |          | スイスフラン(3ヵ月)  | -0.72920 | -0.72960 | -0.73000 | -0.72560 | -0.72640 |
|      |          | 豪ドル(3ヵ月)     | 1.80000  | 1.79000  | 1.71000  | 1.69000  | 1.71500  |
|      |          | NZドル(3ヵ月)    | 2.00000  | 2.00500  | 1.99000  | 1.96000  | 1.94500  |

(注) 月末が休日の場合は前営業日データ

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

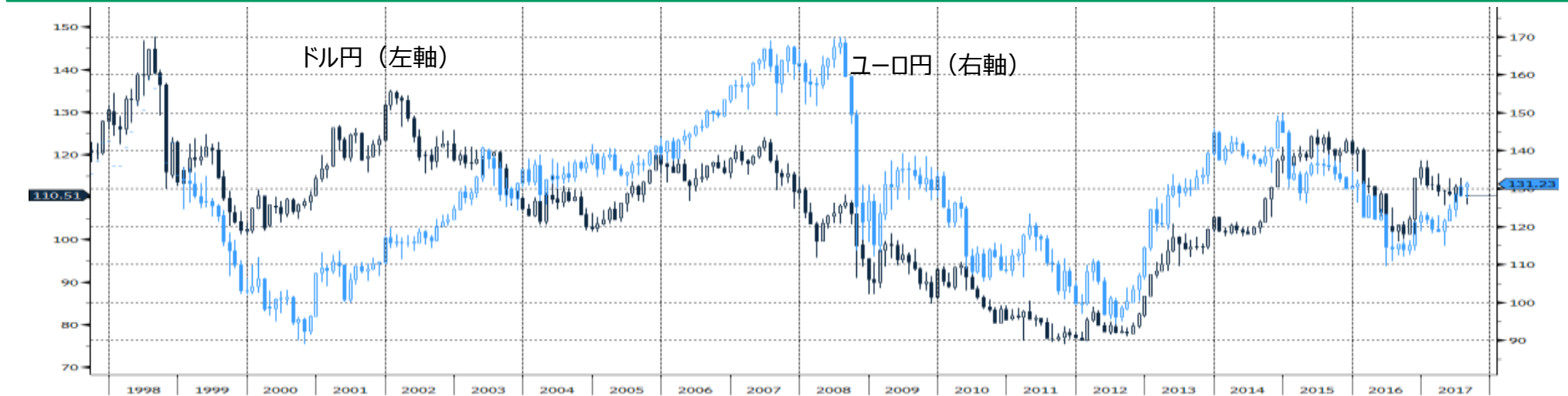
## (2017年 9月号)

2017/08/31

### ○チャート集① 過去20年間の相場推移（外国為替、株式）

出所：Bloomberg

#### ドル円とユーロ円



#### 日経平均とNYダウ

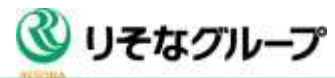


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュ マンスリー (2017年 9月号)

2017/08/31

## ○チャート集② 過去20年間の相場推移（長期金利、商品）

出所：Bloomberg

### 米国10年金利と日本10年金利



### 原油（WTI原油先物）と金（NY先物）



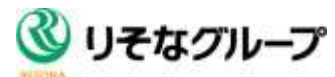
◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

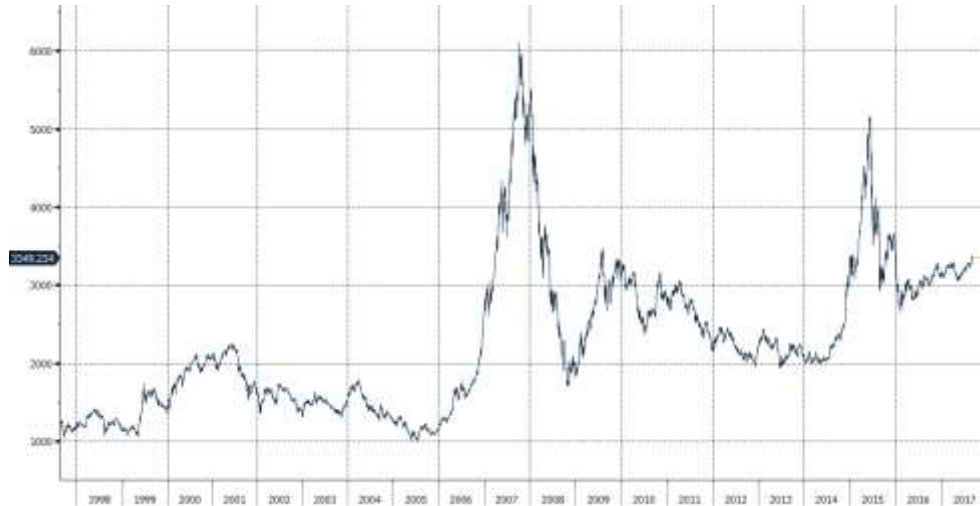
## (2017年9月号)

2017/08/31

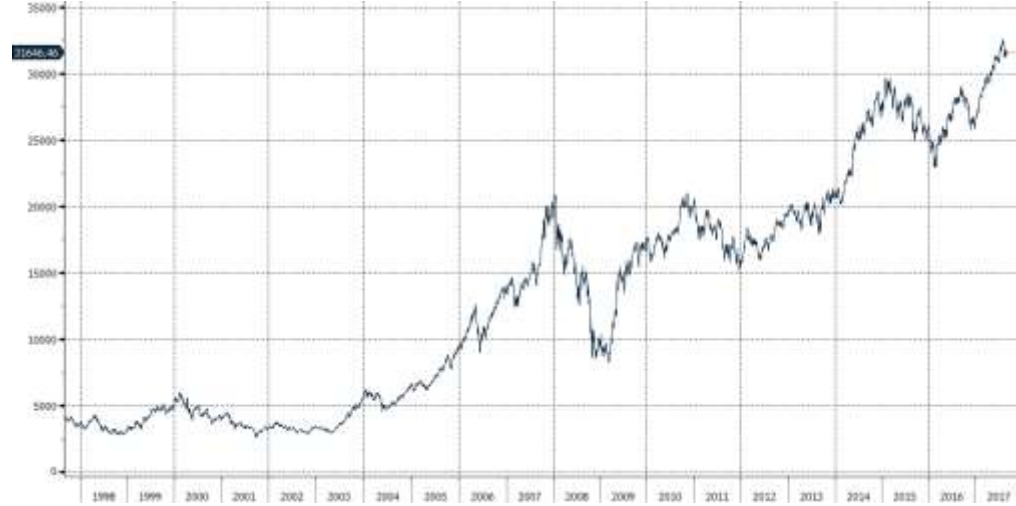
### ○チャート集③ 過去20年間の相場推移（新興国株式）

出所：Bloomberg

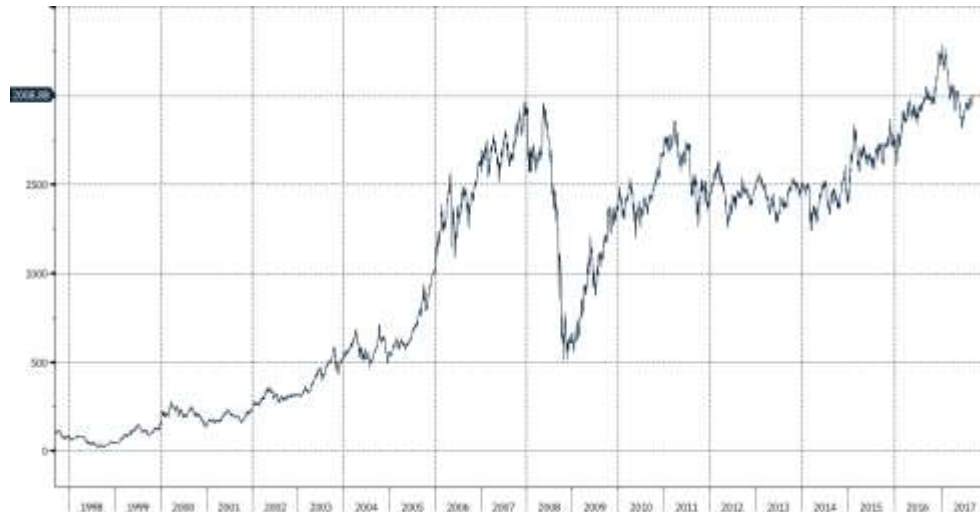
中国上海総合指数



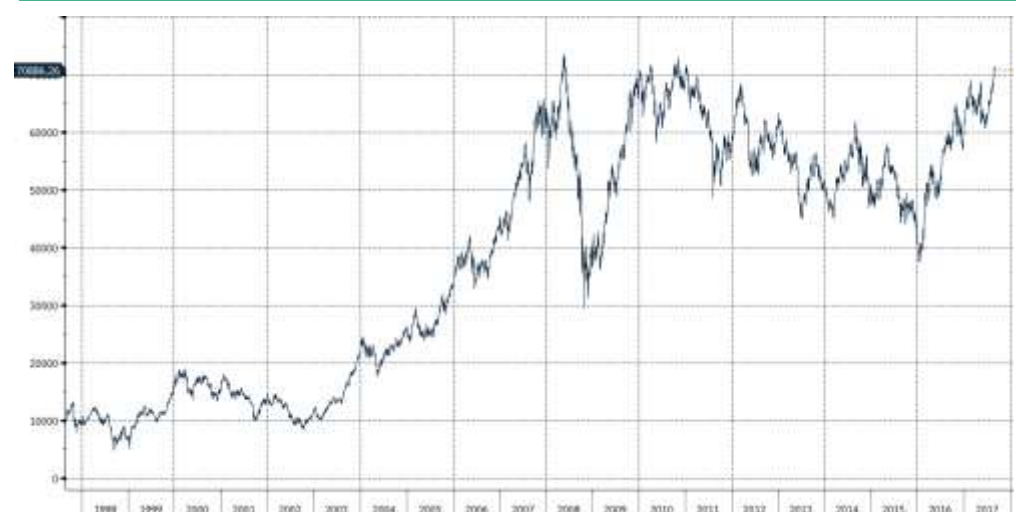
インドSENSEX指数



ロシアMICEX指数



ブラジルBOVESPA指数



#### ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



### 〇景気の現状と見通し① 日本

#### 景気の現状

#### 緩やかな持ち直し、消費と設備投資の持続性がカギ

日本経済は、緩やかな持ち直し。4-6月期GDPは内需の柱である消費・設備投資主導で高成長となった。今後は持続性が焦点となる。

##### 1-1 4-6月期実質GDP、消費・設備投資主導で高い伸び

2017年4-6月期実質GDPは前期比+1.0%（1-3月期+0.4%）となった。内訳をみると、個人消費（+0.9%）や設備投資（+2.4%）と内需の2本柱が好調。一方、外需（寄与度▲0.3pp）は6四半期ぶりにマイナスとなった。尚、補正予算の執行により、公的需要（+1.3%）はプラス寄与。

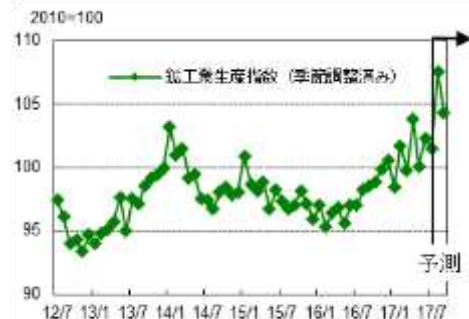
##### 1-2 鉱工業生産、生産は持ち直しの動き

7月鉱工業生産は、前月比▲0.8%と3か月ぶりのマイナス。経済産業省の製造業予測調査によると、8月は+6.0%、9月は▲3.1%の見通し。予測調査を前提とすると前期比+2.3%と6四半期連続のプラスが視野に。

##### 1-3 外需、貿易収支が2か月連続の黒字

7月貿易収支は4,188億円の黒字と2か月連続で黒字。米国を中心に自動車などの輸送用機器や一般機械が増加。

#### 鉱工業生産



#### 機械受注



##### 1-4 個人消費、実質ベースで2か月ぶりのマイナス

7月家計調査によると、1世帯当たり消費支出は、前年比▲0.2%と2か月ぶりのマイナス。

##### 1-5 設備投資、「足踏み」の動き続く

6月機械受注は、船舶・電力除く民間からの受注は前月比▲1.9%4-6月期は前期比▲4.7%。7-9月期見通しは前期比+7.0%となった。

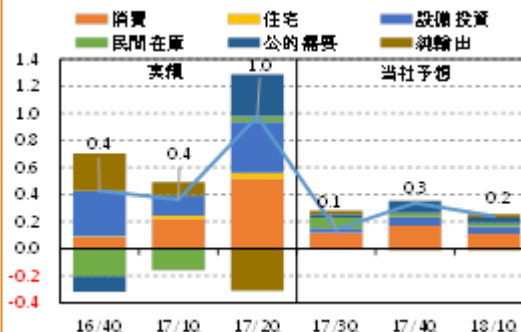
##### 1-6 消費者物価指数、総合、コアが共にプラス

7月消費者物価指数は総合CPIは前年比+0.4%、生鮮食品を除くコアCPIが共に前年比+0.5%となった。電気代が+6.1%と伸び率が拡大し、コアの押し上げに寄与した。

#### GDP予想

#### GDP予想－2017年度+1.9%を想定

日本の2017年度の実質GDP成長率は前年度比+1.9%を想定。前月から+0.5%ポイント上方修正。4-6月GDPを踏まえて改定。良好な雇用環境を反映した消費の改善と潤沢なキャッシュフローを背景とした企業の設備投資が進むことを前提とする。補正予算の執行に伴い、公的需要も期待できる。



| %、内訳は寄与度 | 2016年度<br>実績 | 2016年度<br>実績 | 2016年度<br>実績 | 2017年度<br>予測 |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 実質GDP    | -0.5         | 1.2          | 1.2          | 1.9          |
| 個人消費     | -1.6         | 0.3          | 0.3          | 1.0          |
| 住宅投資     | -0.3         | 0.1          | 0.2          | 0.1          |
| 設備投資     | 0.4          | 0.1          | 0.4          | 0.7          |
| 在庫投資     | 0.5          | 0.4          | -0.4         | -0.2         |
| 公的需要     | 0.0          | 0.3          | -0.1         | 0.3          |
| 外需       | 0.6          | 0.1          | 0.8          | 0.0          |

出所：IN情報センター、りそなHD

#### ◎注意事項

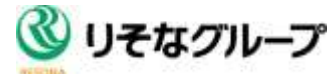
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュ マンスリー

## (2017年9月号)

2017/08/31



### ○景気の現状と見通し② 米国・欧州・中国

#### 米国

##### 7月の指標は総じて良好

米国経済は、7月の経済指標が消費中心に総じて良好な結果となった。雇用は高い水準での伸びを維持しており、失業率も低水準となっている。物価については、賃金の伸びが加速するに至らず、弱い動きが続いている。

4-6月期GDP、前期比年率+3.0%（速報値+2.6%）

個人消費が+3.3%、設備投資が+6.9%と牽引した。一方、住宅投資は▲6.5%と減少に転じた。

7月雇用統計、非農業部門雇用者数が前月比+20.9万人

伸びは鈍化したものの高水準を維持。賃金は前年比+2.5%と6月と変わらず。伸び悩みが続く。

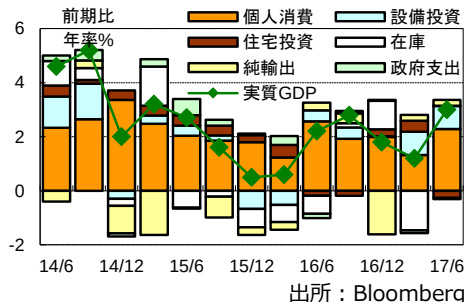
7月小売売上高、コアが前月比+0.6%と高い伸び

業種別では13業種中10業種と幅広い業種で売り上げが増加。過去分も5月▲0.3%→▲0.2%、6月▲0.2%→+0.1%と上方修正された。

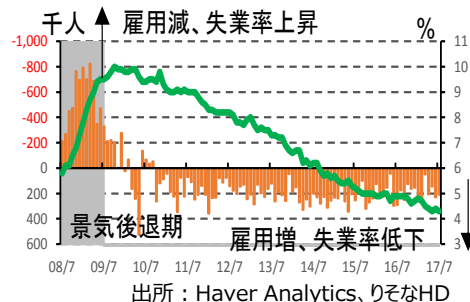
7月消費者物価、伸び悩み

総合が前年比+1.7%（6月+1.6%）、コアが+1.7%（6月+1.7%）と伸び悩み状況が継続

#### GDP



#### 雇用統計



#### 欧州

##### ドイツ経済、経済指標が強弱混在

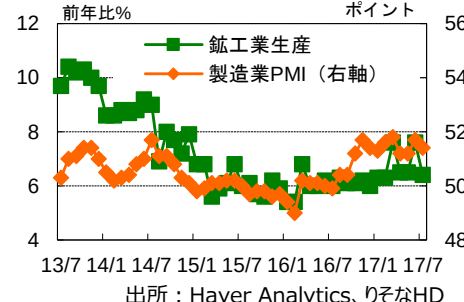
ドイツの6月主要経済指標をみると、鉱工業生産は6ヶ月ぶりに減少となったが、小売売上高、製造業受注は増加。貿易面では、貿易黒字は拡大したが、輸出は6ヶ月ぶりに減少。ドイツ経済指標は強弱が混在する状況となっている。物価面では8月消費者物価指数が前年比+1.8%（7月+1.7%）と伸びが拡大。8月景況感指数は独Ifo、ZEW（期待）が共に悪化。

#### 中国

##### 7月の指標は総じて鈍化

中国経済は、7月の指標は6月と比較すると総じて鈍化が目立った。生産、小売の主要項目で前年比の伸びが縮小。製造業PMIも鈍化した。貿易収支は5ヵ月連続で黒字が拡大しているものの輸出・輸入は共に伸び悩んでおり、懸念される。物価面では消費者物価全体への影響の大きい食品価格が6ヵ月連続で前年割れとなっており、伸び率も前月から鈍化した。

#### 鉱工業生産と製造業PMI



#### 貿易統計

